地域で育てたい力や心

命を大切にする心

目標としたい子どもの姿

- 自分の命を大切にする子ども。
- 他の人の命を大切にする子ども。
- 動物や植物の命を大切にする子ども。

命を大切にすることは、体だけでなく心も大切にすることです。また、自分の命と同じように、他の人の命を大切にすることは、他の人の体と心を大切にすることです。

ボランティア活動など人の役に立つ体験をすることで、子どもは、自分が地域の中で大切な存在であることを実感することができます。また、身近な動物や植物とふれ合う中で、それらも命を持つ存在であることを感じることや、命の源である食や環境について体験を通しながら学ぶことも、地域における命を大切にする取組です。

自分の未来を切り拓(ひら)く力

目標としたい子どもの姿

- チャレンジする意欲をもつ子ども。
- 解決のための知恵を出す子ども。
- 困難に耐えてやりぬく子ども。

自分の未来を切り拓(ひら)く力とは、子どもが将来、社会の中でたくましく生きるために必要な力です。子どもが主体的に活動できる場面を作ることや、目標を持てるようにすることで、子どもは意欲を持って取り組むことができます。また、めんどうなこと、苦しいことでも、やろうと決めたことは、やりぬく経験も大切です。

努力したり、工夫したりしている姿を認め、ほめ、励ますことで、子どもは、自分に自信を持ち、主体的に活動することができるようになるでしょう。

故郷(ふるさと)を愛する心

目標としたい子どもの姿

- 自分の故郷(ふるさと)を大切にする子ども。
- 故郷(ふるさと)のよさを様々な方法で表現する子ども。
- 他の人の故郷(ふるさと)を大切にする子ども。

自分の故郷を愛することは、自分の故郷と同じように、他の人にとって故郷が大切であるということを理解することにつながります。

地域の自然、文化、人について、体験を通して学ぶ活動が大切です。子どもは、それらの体験をする中で、地域の人のもつ技術や受け継がれて来た文化の素晴らしさに気づき、地域に自信を持つことができるようになるでしょう。

また、それらの活動の中で、地域の人の温かさを感じることが、故郷(ふるさと)を愛する心につなが ります。

そのためには、まず、大人が地域を大切にし、地域の活動に参加し、地域を知ることが大切です。

人と関わる力

目標としたい子どもの姿

- あいさつができる子ども。
- いろいろな人と対話ができる子ども。
- 他の人と協力できる子ども。
- ルールを守れる子ども。

よりよく人と関わることができる力は、楽しく過ごせるためだけでなく、大人になって社会の中で生きていくために大切な力です。

地域の中でいろいろな体験をすることや、言葉を通じて思いを伝え合ったりすること、他の人を思いやり自分のわがままを我慢することなど、異年齢や異世代の様々な人と関わる経験の中から、人と関わる力は育まれていきます。

感動する心

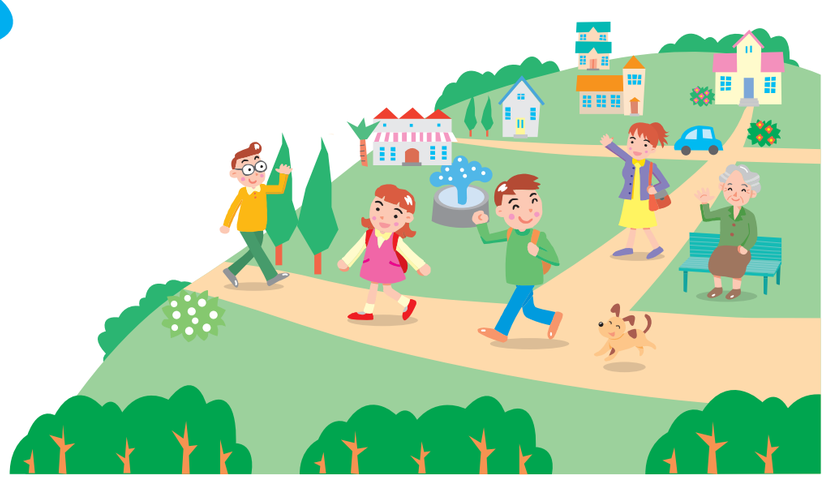
目標としたい子どもの姿

- 美しいものを美しいと感じる子ども。
- 自然のすばらしさや不思議さに感動する子ども。
- 芸術のすばらしさに感動する子ども。
- 仲間とやりとげたことに感動する子ども。

感動する心は、豊かな心を育てるための基盤となると考えます。

星をながめたり、夕日を見つめたり、自然の中でおもいきり遊んだりして、自然を体感する活動や、すばらしい音楽、演劇などの様々な文化にふれ合ったりする活動など、心を揺り動かす体験を子どもの時にすることが大切です。

また、地域における様々な人とのふれあいの中で、何かをやりとげた時の達成感も大切にしたい心です。



地域の関わりで心がけること

ルール(約束事)をきちんと示し、守ることの大切さを理解させましょう。

- これだけはみんなで守ろうというルール(約束事)を子どもと一緒に作りましょう。
- 決められたルール(約束事)は守れるよう、時にはたしなめたりしながら、関わる人全員で根気強く取り組みましょう。
- 子どもは大人の後ろ姿を見ています。言葉だけでなく行動で示すことも大切です。

教えることは教え、子どもに任せるところは任せましょう。

- 活動の基本的なこつ、安全についての留意点など、基本的なことはしっかり教えましょう。
- 子どもが主体的に活動できるようにしましょう。どんなことをやるのか、どのようにやるのか等、企画段階から子どもに任せることで、子どもはやる気をもったり、力を伸ばしたりすることができます。

小さなことでも、一人一人のよさを認め、ほめ、励ましましょう。

- 子どもの名前を覚え、名前で呼びかけましょう。そのことで、子どもは、地域の人に自分が見守られているということを感じることができます。
- 元気さ、明るさ、優しさ、素直さ、頑張りなど、子ども一人一人のよさを、言葉に出して、認め、ほめ、励ましましょう。地域の人に認められることで、子どもは、自信を持ち、地域の一員としての自覚を持つことができます。